

秋田歴研協会誌

第86号

秋田県歴史研究者・研究団体協議会

2025. 9



伊勢堂岱遺跡全景 上空から遺跡を俯瞰した写真（撮影者は中嶋俊彦氏）。A～Dの四つの環状列石（ストーンサークル）が確認できる。環状列石Bの西側は、昭和初期の阿仁合線（現・秋田内陸縦貫鉄道）敷設で削られたと考えられており、その際の工事では土器や石器が出土したと伝えられている。Bの形状は弧状であり、長さは約15m。環状ならおよそ30mの規模となる。『伊勢堂岱遺跡発掘調査報告書』（2011、北秋田市教育委員会）では、Bは『「未完成の環状列石」』とも呼ばれており、調査では礫の抜き取り痕や後世の攪乱は確認できなかったことから、構築が何らかの理由で中断されたと考えられる』と説明している（本誌10頁の註3も参照のこと）。

特集 秋田歴研協 春の発表会

縄文遺跡を未来につなぐ ―伊勢堂岱遺跡の価値及びその利活用と保存―

特 集	秋田歴研協 春の発表会	
	縄文遺跡を未来につなぐ ―伊勢堂岱遺跡の価値及びその利活用と保存―	
		中嶋 俊彦 (2)
歴 史 情 報	地方出版社の現況と自費出版	渡辺 修 (11)
文 献 情 報		(16)
催しもの情報		(17)
事務局だより		(20)

秋 田 歴 研 協 会 誌

第 86 号

発 行 2025年 9 月10日

発 行 者 秋田県歴史研究者・研究団体協議会 会長 半田和彦

会誌編集者 塩田康之

事 務 局

E-mail fw190d9@cna.ne.jp

振替番号 秋田02510-2-4343 加入者名：秋田歴研協

印 刷 編集工房 厨（くりや）